

近美コレクション

ヴィジュアル・ガストロノミー／ディマシオ美術館コレクション／この1点を見てほしい。

2020年9月19日(土) — 11月8日(日)

ヴィジュアル・ガストロノミー —いただきます。ごちそうさま。 【展示室A 1階】

ガストロノミーとは美食学・美味学のこと。古来、人びとは食をめぐるさまざまな文化を育んできました。美術においても、作家たちは食からインスピレーションを受け、数多くの作品を生み出してきました。食事スタイルに合わせてデザインされた器、身の回りにある食材を題材にした作品、人々が集まり豊かなコミュニケーションが生まれる団らんの情景など、その内容は多様です。本展は、これら食をテーマにした多彩な作品をご紹介しますものです。当館コレクションをじっくりと見て、味わっていただく機会になることでしょう。

さあ、美味しく楽しい、食にまつわるアートの世界へ。 ※会期中一部展示替があります。 前期：9/19～10/16 後期：10/17～11/8

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	
1	エミール・ガレ	アザミ文リキュールセット	1880代	ガラス：宙吹き、型吹き、エナメル彩、金彩	
2	ラウル・デュフィ他	葡萄酒・花・炎	刊行：1956	リトグラフ・紙	前後期で展示替え (前期：9/19～10/16 後期10/17～11/8)
食卓の彩り					
3	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀	ガラス：ホットワークによる装飾、エナメル彩、金彩	
4	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス：レースグラス	
5	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀	ガラス：金彩	
6	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス：エナメル彩、金彩	
7	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス：エナメル彩、金彩	
8	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：宙吹き、エナメル彩	
9	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀後半	ガラス：エナメル彩、金彩	
10	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩、金彩	
11	イタリアの工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：色ガラス粉と金箔、金粉による装飾、ホットワークによる装飾	
12	ボヘミアの工房	鹿文蓋付ゴブレット	19世紀中期	ガラス：型吹き、ステイニング、カット、エングレーヴィング	
13	ボヘミアの工房	蓋付ゴブレット	19世紀中期	ガラス：型吹き、ステイニング、エングレーヴィング	
14	ヴェネツィアの工房	栓付瓶	19世紀初	ガラス、黄銅渡銀、真鍮：グラヴュール	
15	不詳	蓋付瓶	19世紀後半	ガラス：金彩、エナメル彩	
16	イギリスの工房	銀飾デカンタ	1919	ガラス：銀、カット	
17	エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880代	ガラス：宙吹き、エナメル彩、金彩	
18	エミール・ガレ	鳥文蓋物	1900～05頃	ガラス：被せガラス、エッチング	
19	エミール・ガレ	木の実文鉢	1890頃	ガラス：エッチング、エナメル彩	
20	ドーム	スマレ文ボンボン入れ	1910	ガラス：エナメル彩、エッチング	
21	ドーム	銀緑飾草文大鉢	1894頃	ガラス、銀：エッチング、金彩	
22	ドーム	銀台付ヤドリギ文コンポート	1894頃	ガラス、銀：エッチング、金彩	
23	シーモン・ガーテ／ オレフォッシュ社 製作	皿付鉢・ダイアナ	デザイン：1920 制作：1926	ガラス：エングレーヴィング	
24	シーモン・ガーテ／ オレフォッシュ社 製作	馬に人物文コンポート	デザイン：1920 制作：1925	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	

25	エードヴァルド・ハルド／ オレフオッシュュ社 製作	鉢・葡萄の収穫	デザイン：1924 制作：1925	ガラス：型吹き、エングレーヴィン グ	
26	エーヴァルド・ダールスクーグ	蓋付台付鉢・メリーゴーランド	1926	ガラス：型吹き、カット、エングレー ヴィング	
27	中村 錦平	浪費するカップとだまってしまったカップ	1973(昭和48)	陶・アクリル	
28	マイケル・アーンツ	急いで	1973	陶	
29	リチャード・ショー	無題	1973	陶	
30	ルイス・スコーカ	月面の足跡	1973	陶	
31	リサ・ラーソン	無題	1973	陶	
32	テリー・イートン	拍車カップ	1973	ガラス：コーティング	
33	赤地 健	波にプカプカ	1973(昭和48)	陶	
34	トニー・ヘップバーン	無題	1973	陶	
35	ミネオ・ミズノ	無題	1973	陶	
36	森 正洋	六つのカップ	1973(昭和48)	陶	
37	三島 喜美代	無題	1973(昭和48)	陶・シルクスクリーン	
38	ヤン・デ・ローデン	カップのための記念碑	1973	陶	
モデルは食べもの					
39	小枝 繁昭	Still Life on the Table #11	1991(平成3)	シルクスクリーン・アクリル絵具、 紙	
40	ジョーイ・カークパトリック／ フローラ・C.メイス	フルーツの静物	1994	ガラス：宙吹き、ガラス粉溶着によ る着色	
41	タイガー立石	ピサ	1979(昭和54)	シルクスクリーン・紙	
42	ジャン＝ミシェル・フォロン	ナイフとフォーク	1971	シルクスクリーン・紙	
43	マティアス・ヴァスク	ザ・クラシック・ビッグ・マック	1991	リトグラフ・紙	
44	マグリット、ルネ	『マグリットの落とし子たち』 魅せられた領域：海辺にはリンゴの顔をした二人の 訪問者がいる…	刊行：1968	リトグラフ・紙	
ごちそうは団らん					
45	歌川 国貞	源氏後集余情 総合	1858(安政5)	木版・紙	前期展示(9/19～10/16)
46	歌川 国貞	日月星ノ内 月		木版・紙	前期展示(9/19～10/16)
47	歌川 国貞	見立娘壇之浦		木版・紙	前期展示(9/19～10/16)
48	不詳	蘭人饗宴之図		木版・紙	前期展示(9/19～10/16)
49	歌川 国貞	(七代目市川団十郎揮毫の図)		木版・紙	後期展示(10/17～11/8)
50	歌川 国貞	流行美人合		木版・紙	後期展示(10/17～11/8)
51	歌川 国貞	酒酔の三妾		木版・紙	後期展示(10/17～11/8)
52	不詳	紅毛人康楽之図	江戸時代	木版・紙	後期展示(10/17～11/8)
53	山村 耕花	踊り・上海ニューカルトン所見	1924(大正13)	木版、紙	
54	上野山 清貢	室内	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	
55	森田 沙伊	匙	1974(昭和49)	紙本彩色	
56	大久保 作次郎	草上を歩む	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	
57	青山 熊治	アイヌ	1910(明治43)	油彩・キャンバス	
58	増田 誠	Le Roi	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	
食の物語					
59	能勢 真美	青い鳥	1926(大正15)	油彩・キャンバス	

60	小寺 健吉	水辺	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	
61	田中 忠雄	ライ麦苅込み	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	
62	ジュル・パスキン	酒を飲む放蕩息子	1927	ドライポイント、メゾチント・紙	
63	ジュル・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント・紙	
64	ジュル・パスキン	放蕩息子	1924	ドライポイント・紙	
65	ジュル・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグランドエッチング・紙	
66	ジュル・パスキン	放蕩息子	1922	油彩・キャンバス	
67	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 葡萄の取り入れ	1957～60 刊行 1961	リトグラフ・紙	
68	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 牧神パーンの饗宴	1957～60 刊行 1961	リトグラフ・紙	
69	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 メガクレーヌはクロエが自分の娘であることに 宴の間に気がつく	1957～60 刊行 1961	リトグラフ・紙	
70	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 ドリュアース家での食事	1957～60 刊行 1961	リトグラフ・紙	
71	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 ニンフたちの洞窟での婚礼の祝宴	1957～60 刊行 1961	リトグラフ・紙	
72	アントニ・クラークヴェ	ガルガンチュア物語	1950-1955/1955刊	リトグラフ・紙	会期中展示替えあり
73	アンドレ・ドラン	パンタグリユエル挿画集	1941-1943/1943刊	木版・紙	会期中展示替えあり
74	エミリー・ブロック	セントラル・ダイナー	1991	ガラス:カット、フュージング、スランピング、エナメル焼付、ランプワーク、部分的に石と金属	
75	アン・ヴォルフ	スープの王様がいない	1980	ガラス:被せガラス、サンドブラスト、エッチング	
ごちそうさま。					
76	阿部 典英	ナイフ	1968(昭和43)	アルミ、布、ベニヤ	

太陽の森 ディマシオ美術館コレクション

〈アートギャラリー北海道〉

【展示室A 2階】

ゆたかな自然につつまれた北海道新冠町太陽に、廃校となった小学校を再生して誕生した「太陽の森 ディマシオ美術館」。

この美術館には、フランス幻想絵画の鬼才として注目を集めたジェラルール・ディマシオ（1938年生）の油彩やパステル、素描など、代表作200点以上が収蔵されています。展示室には3年かけて制作された世界最大とされる縦9メートル、横27メートルの巨大油彩画を核として、ディマシオの幻想的な世界があますところなく展覧されています。

道内各地の特色ある美術館の魅力を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、開館10周年を迎えるディマシオ美術館のコレクションから、ディマシオの絵画作品約10点に加え、同館が誇るアール・デコを代表する工芸作家ルネ・ラリックのガラス作品約30点もあわせて展覧します。

No.	作家名	作品名 ディマシオ作品には題名は付されていない	制作年(デザイン年)	技法・材質	備考／ 所蔵はすべて太陽の森 ディマシオ美術館蔵
1	ジェラルール・ディマシオ		1994年	油彩・キャンバス	径150cm
2	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／アンティーク	1910年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	
3	ルネ・ラリック	香水瓶・ルナリア	1912年	ガラス:プレス	* ルナリアは植物の名前(ギンセンソウ)
4	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／レフルール	1912年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	
5	ルネ・ラリック	香水瓶・フルーレット	1919年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	
6	ルネ・ラリック	香水瓶・3羽のツバメ	1920年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	
7	ルネ・ラリック	香水瓶・カランダル	1929年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	* カランダルはイスラム系少数民族
8	ルネ・ラリック	香水瓶・カクタス(サボテン)	1943年	ガラス:型吹き、プレス(栓)	
9	ルネ・ラリック	デカンタ・6人の人物	1914年	ガラス:型吹き(瓶)、プレス(栓)	
10	ルネ・ラリック	花瓶・6人の女性	1912年	ガラス:プレス	
11	ルネ・ラリック	カーマスコット・クリシス	1931年	ガラス:プレス	* クリシスはギリシャ神話に登場するトロイの3女神
12	ルネ・ラリック	カーマスコット・ロンシャン	1929年	ガラス:プレス	* ロンシャンはパリ・セーヌ河畔にある競馬場

13	ルネ・ラリック	鷺	1928年	ガラス：プレス	
14	ルネ・ラリック	花瓶・ボーヴェ	1931年	ガラス：プレス	* ボーヴェはフランスの地名
15	ルネ・ラリック	花瓶・ラングドック	1929年	ガラス：型吹き	* ラングドックはフランスの地名
16	ルネ・ラリック	花瓶・ペトラルカ	1929年	ガラス：プレス（耳はプレスで別造して溶着）	
17	ルネ・ラリック	花瓶・マーガレット	1929年	ガラス：プレス（耳はプレスで別造して溶着）	
18	ルネ・ラリック	三脚鉢・シレーヌ	1920年	ガラス：プレス	* シレーヌはギリシャ神話に登場する人魚
19	ルネ・ラリック	花瓶・雄羊	1925年	ガラス：プレス	
20	ルネ・ラリック	花瓶・3匹の蝶	1913年	ガラス：ろう型成形	
21	ルネ・ラリック	花瓶・ダナイード	1926年	ガラス：プレス	* ダナイードはギリシャ神話に登場する泉の精
22	ルネ・ラリック	花瓶・牧神	1931年	ガラス：型吹き	
23	ルネ・ラリック	飾り鉢・オンディーヌ	1921年	ガラス：プレス	* オンディーヌはギリシャ神話に登場する水の精
24	ルネ・ラリック	花瓶・射手	1921年	ガラス：型吹き	
25	ルネ・ラリック	蓋付き花瓶・シレーヌ	1920年	ガラス：型吹き、プレス（栓）	* シレーヌはギリシャ神話に登場する人魚
26	ルネ・ラリック	飾り皿・カーネーション	1920年	ガラス：プレス、エナメル彩	
27	ルネ・ラリック	装飾のための金属板		5枚組	
28	ルネ・ラリック	パウダーケース・ロジェ&ガレ／愛の花	1922年	真鍮：パチネ彩色	
29	ルネ・ラリック	ピントレイ・泉の女神	1925年	ガラス：プレス	
30	ルネ・ラリック	飾り鉢・パンソン	1933年	ガラス：プレス	* パンソンは鳥の名前（アトリの仲間）
31	ルネ・ラリック	花瓶・さんざし	1921年	ガラス：型吹き（把手はプレスで別造して溶着）・文様エッチング	
32	ルネ・ラリック	花瓶・ひな菊	1923年	ガラス：型吹き	
33	ルネ・ラリック	シャンパングラス・ニッポン	1930年	ガラス：型吹き	〔4点組〕
34	ジェラール・ディマシオ		1991年	油彩・キャンバス	300×1050cm
35	ジェラール・ディマシオ		1978年	油彩・キャンバス	100×81cm
36	ジェラール・ディマシオ		1988年	油彩・キャンバス	142×106cm
37	ジェラール・ディマシオ		1989年	油彩・キャンバス	200×300cm
38	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕
39	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕
40	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔5枚組〕
41	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔3枚組〕
42	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕

この1点を見てほしい。

【展示室A 2階】

美術館の様々な活動の基礎となるのは、美術や美術館に関する調査・研究です。とりわけコレクションを対象とした調査や研究活動は、美術館の最も重要な役割のひとつであり、また、実物を所蔵しているからこそ可能となる活用の領域でもあると言えるでしょう。「この1点を見てほしい。」は、当館コレクションから学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介するコーナーです。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	溪斎 英泉	花魁道中 鯉の滝のぼり		木版・紙(大判二枚続き)